

2019年度(令和元年度) 鳥羽・志摩中学校 夏季総合体育大会(サッカーの部)要項

1. 日時 及び 会場

- ・2019年7月13日(土)・14日(日) (予備日:7月21日・22日・23日)
- ・文岡中学校グラウンド

2. 参加校 及び 試合球

- ・参加校 6校(鳥羽東・磯部・文岡・東海・大王・志摩)
- ・公認5号球(大会本部で用意 2球)

3. 試合運営

- ・大会長:山本博康(志摩) ・救護:堤淑(志摩)
- ・全体:伊相友晴(志摩)、大東健吾(鳥羽東)→司会
- ・会場:倉田昌彦(文岡)・競技責任者:伊相友晴(志摩)・記録・弁当:竹村速視(文岡)、倉田昌彦(文岡)
- ・審判長:松井暁彦(東海)・競技:山本敦仁(鳥羽東) 大形悠貴(磯部) 西村 聡(大王)

4. ルール 及び 注意事項

- ・大会規則は日本サッカー協会競技規則 2018/2019 に準ずる。
- ・当日のWBGT28℃を基準とするが、積極的にクーリングブレイク(3分間)を採用する。選手全員をベンチに戻し、確実に休息させる。また、当日の天候によっては飲水タイム(1分間)の場合もある。ペットボトルや水筒を手渡ししてもOKとする。どちらも、前後半15分程度が経過した時に採用する。(WBGT値が30℃を越える場合はさらに飲水を相談。)
- ・レガースは着用。装飾品は認めない。ユニフォームの身だしなみに注意すること。爪は切っておくこと。長い髪の毛はゴムで結びまとめること。
- ・大会登録人数は18名とし、選手の自由交代制は採用しない。交代人数は7名までとする。
(大会中は初日に提出した登録用紙に記載した選手のみで参加し、選手交代は交代カードを提出して行う)
- ・メンバー表は大会当日の担当者会議の時に提出する。(毎試合時にも提出すること)
- ・警告(累積)2回、及びレッドカードによる退場者は次の試合の出場を停止する。その後の試合については本部で別途協議し、監督に伝えるものとする。
- ・給水ボトル(ソフトボトルに限る)の設置はタッチライン後方で副審の走路の妨げにならない位置に置く。またはゴールマウスの外側とする。
- ・PK戦の前に、ピッチ内で給水を取ることができる。なお、ピッチ内に入れるのは監督かコーチ1名とピブス着用の補助の選手2名までとする。時間は1分以内とする。PK戦の指示を行っても良い。(天候判断して積極的にベンチに戻す)
- ・中体連で認められた外部コーチのベンチ入りを認める。(2名までとする)ベンチ内は監督1名、引率1名、コーチ2名までとする(最大4名まで)。ただし、ベンチから立って選手に指示できるのは1名のみ。校長・教頭は本部席とする。各チーム、コーチの人数を当日の朝の打ち合わせで報告する。
- ・保護者の応援等は校舎側タッチライン後方で、プレー、ベンチの邪魔にならない場所とする。道路側のタッチライン後方で応援等は認めない。なお、プレー等に影響がある場合、試合責任者が移動を指示する。保護者・選手とも、クラブハウス2Fでの見学は禁止。(応援等は全て当日のローピングエリアより外側で行う)
- ・アップは体育館側ゴールライン後方のスペースで行う。試合をしている選手と練習着の色を変えること。

5. 選手のレンタルについて

- ・中体連のサッカー専門部、及び理事会で理解され、了承を得ること。
- ・レンタルの合同チームの人数はその上限を11名とする。
- ・選手レンタルの当該チームは上記の条件を満たし、かつ、選手・保護者・学校等の事情を充分考慮し、トラブルのないようにすること。

6. 試合方法

- ・6チームによるトーナメント戦で行う。
- ・試合時間は30分-5分-30分とし、決しない場合は5分間の休憩後、5分-5分の延長戦を行う。それでも決しない場合は5人制のPK戦を行う。
- ・試合開始時間はトーナメント表を厳守する。ただし、PK戦等で次の試合に支障をきたす場合は順次繰り下げる。
- ・試合が連続するチームについては、約1時間30分の休憩を確保する。
- ・試合中断の場合は天候等の回復を待って当日に行う。(残り時間分を、ドロップボール等から始める)
- ・天候等の回復が見込めない場合は再試合を翌日以降に行う。(残り時間、得点差等に関係なく、最初から始める)
- ・最低試合参加人数は7名とする。

